

インターネット回答期間

9/14~10/7

郵送回答期間

10/1~10/7

# 国勢調査



国勢調査は、2020年（令和2年）10月1日現在、日本に住んでいるすべての人および世帯が対象です。調査項目は「男女の別」、「出生の年月」、「就業状態」、「従業地または通学地」など、全部で16項目です。5年に1度行われる日本の最も重要な調査です。ご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため  
インターネットまたは郵送による回答にご協力ください！



## インターネットでの回答の方法

### ①アクセスする

ご自宅に調査票が届いたら、回答サイトにアクセスします。



国勢調査オンライン

<https://www.e-kokusei.go.jp/>



### ②ログインする

調査書類のなかの『インターネット回答利用ガイド』に記載されている「ログインID」と「アクセスキー」でログインします。

ログインID (Login ID)

アクセスキー (Access Key)

(8ケタ)

(4ケタ)

### ③回答する

画面にそって、国勢調査に回答します。最後にパスワードを設定し、送信します。

## 郵送での回答の方法(郵便切手は不要)

調査票に回答の記入を終えたら、「郵送提出用封筒」に封入し、郵便ポストに投函してください。  
※紙の調査票で回答する場合、黒の鉛筆またはシャープペンシルでの記入をお願いします。

## インターネットや郵送での回答が難しい場合

復興企画課企画振興係にご相談ください。

## 国勢調査ってどんな調査？

### 全世界帯が対象

日本に住んでいるすべての人と世帯が対象です。生まれたばかりの赤ちゃんや外国人の方も対象に含まれます。

### 最も重要な調査

統計法という法律に基づいて、5年に一度実施される、日本で最も重要な統計調査です。

### 回答の義務あり

法律で回答することが義務付けられています。回答が確認できない場合、国勢調査員が調査票の受け取りにお伺いします。

### 調査書類は調査員が世帯ごとに配布

調査委員が各世帯を訪問し、調査書類をお届けします。ご不在の場合は郵便受けに配布します。

### 全16問でかんたん

出生の年月や職業など世帯員に関する諮問と、住居の種類や世帯員の数などの世帯に関する諮問の16問です。

### 調査結果は身近な暮らしに活用

災害時に必要な物資を備えたり、コンビニの出店計画に利用されるなど、わたしたちの生活の身近なところに役立てられています。

## 詐欺・かたり調査にご注意を！

- ①国勢調査では、金銭を要求することはありません。また、銀行口座の暗証番号やクレジットカード番号をお聞きすることはありません。
- ②国勢調査をよそおった不審な訪問者や不審な電話、電子メール、ウェブサイトにご注意ください。不審に思った際には、速やかに役場にお知らせください。
- ③調査員は、その身分を証明する「調査員証」または「国勢調査業務委託証明書」を携帯しています。



問 復興企画課 企画振興係 ☎0240-27-1251

## まちの話題

### 旧緊急時避難準備区域の4市町村合同要望活動を実施



↑ 福島復興局での要望の様子

8月4日（火）、旧緊急時避難準備区域の指定を受けた広野町・南相馬市・田村市・川内村は、福島復興局において、生沼裕福島復興局長、由良英雄原子力災害現地対策本部副本部長に対して要望活動を実施しました。要望の内容として、①医療費の一部負担金などの免除に対する財政支援の継続などの6つの案件について、旧緊急時避難準備区域と避難区域への支援に格差が生じることのないよう要望しました。

### 第26行政区で夏休み交流会を実施



↑ 輪投げを体験する子どもたち

8月12日(水)、第26行政区の老人クラブと子どもたちは集会所で交流会を行いました。第26行政区は子どもたちの夏休み期間中に合わせ、集会所で朝6時30分にラジオ体操を10日間行うことで、地域の子どものちとちとのお年寄りの交流を図りました。最終日には、町の「コミュニティ交流事業助成金」を活用し、輪投げやスイカ割り、水鉄砲などの昔懐かしい遊びを企画しました。子どもたちは初めてのスイカ割り体験などを元気いっぱい楽しんで、交流を深めました。

### 福島県知事、県議長、県教育長へ要望活動



↑ 県知事に要望書を提出

7月22日（水）、県町村会は、福島県知事、県議長、県教育長に対し要望活動を行いました。

要望事項として、①町村自治の確立、②町村財政基盤の確立、③防災・減災対策の強化、④地方創生の推進、⑤再生可能エネルギーを活用した地域の振興、⑥地域医療の確保、⑦持続可能な医療保険制度の構築、⑧少子化社会対策の推進、⑨福島県後期高齢者医療広域連合に対する支援、⑩農業・農村の振興についてなどの45項目を要望しました。

### 災害時における燃料の供給等に関する協定を締結



↑ (有)大和田商店と(有)大越との協定の様子

8月7日（金）、広野町と(有)大和田商店、(有)大越は災害時における燃料の供給等に関する協定を締結しました。この協定は、町内において、災害が発生した際に、緊急車両の運行や避難所で必要な燃料などの供給体制を確立し、被災者の救助・援助活動の迅速な実施やライフラインの確保を円滑に実施することを目的とし、災害に対する備えを万全なものとしていきます。

### 広野町ホームページで情報をいち早くお伝えします！

広野町からの「お知らせ」や「情報」、「まちの話題」、「イベント」などをいち早くお伝えしています。ぜひご確認ください。

「広野町」を検索

